

さいたま 来ぶらり通信

Contents

ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム……1,2	本棚ぶらり 自転車……3
「第5回さいたま子ども短歌賞」／古本リサイクル……4	

わがまち

はっけん

Sai 発



J:COM presents

2017 ツール・ド・フランス

さいたまクリテリウム



世界最大・最高峰の自転車ロードレース、『ツール・ド・フランス』。その名を冠した公認レースが今年もさいたま市で開催されます。

その年の夏の本大会で活躍したスーパースターたちが集まり、さいたま新都心周辺の特設コースで熱戦を繰り広げる、見ごたえのあるレースも今年で5回目です。

今回は、『J:COM presents 2017ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』に迫ります。



目の前を猛烈なスピードで走り抜けていく選手たちに、観客も大興奮！

クリテリウムとは？



自転車競技にはいくつかの種類があり、ロードレースとは、長い距離を走ってゴールまでの総合タイムや着順を競うものです。ロードレースには、一日で決

着がつく「ワンデーレース」と、数日間かけて複数ステージを走り、全ステージの総合タイムを競う「ステージレース」があります。クリテリウムはワンデーレースの一つです。

比較的短い距離を、800mから10km未満の周回コースで競うのがクリテリウムです。つまり、選手たちが短いコースを何周も走ることになります。そのため、大きな差がつきにくく、抜きつ抜かれつの勝負を見ることができるので、とても盛り上がるレースとなります。また、周回することから

トップ選手のコーナリングテクニックなどを何度も見られるのも、見どころの一つです。

そして、ツール・ド・フランスは、ステージレースに分類され、23日間にわたって、起伏の少ない平坦コースや、険しい山岳コースを含めた全21ステージを走ります。コースは毎年変わりますが、大体3,500kmの長大な距離を走ることになります。9人1チームで参加し、勝利を狙うエース選手と、そのエースを勝たせるために動くアシスト選手のチームプレーも重視されます。

世界のほとんどの国と地域で放送され、延べ視聴者数は40億人、直接の観戦者数は延べ1,000万人にも及ぶとのこと。賞金総額、メディアの注目度、観客数、すべてにおいて世界一のレースです。

1903年に始まり、戦争により開催されなかった時期がありますが、2017年には104回目を迎えます。

J:COM presents 2017ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムを楽しもう!

ツール・ド・フランスの熱戦を繰り広げた選手たちや、ツール・ド・フランスを運営する本場のスタッフたちを迎えて、今年もさいたま市で、その名を冠した公認レース、『J:COM presents 2017 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』が行われます! 注目ポイントをまとめてみました。



有力選手たちが多数来日します!

ツール・ド・フランスで活躍した選手たちを間近で見るチャンスです。

総合優勝者を示す特別な黄色いジャージ「マイヨ・ジョーヌ」を着て走る選手も、生で見ることができます。



ホンモノがいっぱい!

選手が乗っている自転車から、案内パネルなどの機材や、運営スタッフ、オートバイの運転手に至るまで、ツール・ド・フランス本大会と同じものをそのまま使用しています。

【参考資料】・『自転車競技入門』飯嶋洋治/著 グランプリ出版 2008
・『イラストでわかる!ロードレースの秘密』柘出版社 2010
・『栗村修の100倍楽しむ!サイクルロードレース観戦術』栗村修/著 洋泉社 2013
・『ツール・ド・フランス完全ガイド』土肥志穂/著 楓書店 2013
・『ツール・ド・フランスってこういうレースだったんだ!』ダイアプレス 2013



同日開催のイベントも充実!



サイクルグッズの販売やスポーツバイク乗り方講座、子ども向けレースなど、自転車をテーマに楽しめる「2017サイクルフェスタ」に加えて、さいたまの食を味わえる「2017さいたまのしえ in さいたまクリテリウム」も同日に開催されています。クリテリウムメインレース以外にも、家族みんなで楽しめるイベントが満載です。



本場の大会の感動と興奮をそのままさいたまで!

今年も『J:COM presents 2017ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』で盛り上がりましょう!



J:COM presents 2017 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムのデータ

開催日 ▶ 2017年11月4日(土)

会場 ▶ さいたま新都心駅周辺

同日
開催

2017サイクルフェスタ
2017さいたまのしえ
in さいたまクリテリウム

※2017さいたまのしえ in さいたまクリテリウムは
11月3日(金・祝)、11月4日(土)の2日間開催

公式サイトURL ▶ <http://saitamacriterium.jp/>

本棚 ぶらり

読書のサイクリングへようこそ！



🚲「キアズマ」

こんどうふみえ
近藤史恵／著 新潮社

2013年



ある事件を理由に、岸田正樹^{きし だまさき}は1年という条件で大学の自転車部に強制入部させられます。ロードバイクに乗ったことすらない正樹でしたが、徐々にロードレースの魅力に惹かれていきます。ところが、中学時代の友人から届いたメールをきっかけに自転車部から距離を置くようになり、ついには退部を申し入れ、競技生活最後のレースに臨みます。大会前夜、チームメイトの櫻井^{さくらい}が背負い込んだ思いを知り、正樹が出した答えは？

近藤史恵は他にもロードレースを題材とした小説「サクリファイス」「エデン」「サヴァイヴ」「スティグマータ」を著しています。こちらもあわせてご覧ください。

🚲「50の名車とアイテムで 知る図説自転車の歴史」

トム・アンブローズ／著
かいりえこ
甲斐理恵子／訳 原書房

2014年



自転車が発明されたおかげで、かつては馬を所持する富裕層の特権だった遠距離移動が一般の市民にも可能になりました。その後、自転車は移動手段や大衆娯楽、スポーツ、物資の運送、軍事利用など様々な用途で使用されます。

この本は、足で蹴って進む初期の自転車から、最先端技術を駆使した現代の自転車まで、約200年の自転車の歴史を写真やイラストで解説しています。

ツール・ド・フランスの裏話や自転車選手の興味深いエピソードもお見逃しなく。

🚲「栗村修の100倍楽しむ！ サイクルロードレース 観戦術」

くりむらおさむ
栗村修／著 洋泉社 2013年



ロードレースは個人競技と団体競技の両方の面を持っています。本書は、レースとチームのカテゴリーやロードバイクなど、ロードレースの基礎知識と見どころを、豊富な写真とイラストで解説しています。

レース観戦に役立つ選手情報には、昨年のさいたまクリテリウムに参加した、別府史之選手^{べつふみゆき}と新城幸也選手^{あらしろゆきや}の紹介もあります。元選手で、解説者の筆者による、テレビ観戦中に「落車（寝落ち）」してしまわないコツや選手時代の苦労話などが、レース観戦をさらに楽しくしてくれます。



🚲「追い風ライダー」

よね づかずなり
米津一成／著 徳間書店
あべ よしとし
安倍吉俊／イラスト

2012年



自転車事故で亡くなった夫は、ブログに走行記録をつけていた。結婚後に夫と始めたサイクリングだったが、夫は一人で走ることを好んでいた。主人公は、夫のブログに残されたコースを自分もたどってみよう、と決意する。夫と同じコースを走ることで、心の傷から立ち直っていく翻訳家の女性の姿を描いた「桜の木の下で」のほか「キャットシッター」「旧友の自転車屋」など、さまざまなきっかけで自転車に乗り始めた人たちの、自転車のあるなにげない日常を書いた5つの短編物語。

「第5回さいたま子ども短歌賞」応募作品を募集しています!

短歌を通して児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ伝統的な言語文化の継承を図るために、さいたま子ども短歌賞を開催し作品を募集しています。



対 象 小・中学生

応募方法 所定の応募票に自作の短歌及び必要事項を記入して、応募先にお送りください。応募票は、各公民館・各図書館で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。

応募期間 平成29年7月20日(木)から
平成29年9月8日(金)まで(必着)

賞 優秀賞20首、入選80首 ※入賞作品で作品集を作成します。

応募先・
お問合せ

さいたま市教育委員会生涯学習振興課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
電話 048-829-1705 FAX 048-829-1990
E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

「古本バザール・リサイクル」を実施します。



さいたま市の図書館では、図書館友の会と協力して、古本バザール・リサイクルを開催し保存期限の過ぎた雑誌や不要になった図書を市民の方へ提供しています。



日 程	会 場	連 絡 先
9月10日(日)	大宮西部図書館ギャラリー	大宮西部図書館
10月21日(土)	桜区区民ふれあいまつり	桜図書館
10月28日(土)	さいたま市文化センター	武蔵浦和図書館
10月28日(土)	中央図書館イベントルーム	中央図書館
12月2日(土)	片柳コミュニティセンター1階部分	春野図書館
12月3日(日)	大宮図書館1階展示ホール	大宮図書館

※さいたま市では、図書館の資料としての役目を終えた本を有効に活用するため、古本バザール・リサイクルで市民の方に提供するほか、市内の保育園、幼稚園、養護施設、介護施設に提供しています。

編集：さいたままぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
美園図書館 764-9610	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 特別ジャージにはマイヨ・ジョーヌ以外にもマイヨ・ブラン(白)マイヨ・ヴェール(緑色)などがあるそうですよ!

次回発行予定：11月15日(年3回発行)



もっと身近に、
もっとしあわせに

